

## 特許・実用新案登録一覽

—昭和49年度—

&lt;日本特許&gt; 22件

No	登録番号 (登録日)	公告番号 (公告日)	出願番号 (出願日)	名 称	要 旨
1	715021 49. 1.18	48-19293 48. 6.12	44-43167 44. 6. 2	ブタジエンより1・4-ジアセトキシ-2-ブテンを製造する方法 (小野 勲, 柳原忠久, 岡田宏亮, 古賀俊国)	パラジウム塩の少くとも1種と銅塩の少くとも1種あるいはこれとパラジウムおよび銅以外の重金属の塩および(または)アルカリ金属またはアルカリ土類金属の塩を触媒とし, 無水酢酸の存在下に酢酸, ブタジエンおよび酸素を反応させることを特徴とする1・4-ジアセトキシ-2-ブテンの製造法
2	722236 49. 3.18	48-23054 48. 7.11	44-42012 44. 5.29	$\alpha$ -オレフィンの二量化, 共二量化 (小野 勲, 山田静夫, 阿部裕之, 国広延子, 田子和夫)	一般式 $R_3Al$ および $R_2AlH$ であらわされる有機アルミニウム化合物(ただしRは $C_2 \sim 6$ のアルキル基)より選ばれた少くとも1種と, 一般式 $Ti(OAr)_4$ であらわされるアリルチタネート類(ただしArはフェニル, 置換フェニル基またはそれらの誘導体を表わし, 置換フェニル基としてはメチル, ブチル, またはフェニル置換のフェニル基等を示す)より選ばれた少くとも1種と一般式 $(R_1Z_1)(R_2Z_2)(R_3Z_3)P_1 R_1 R_2 R_3 P$ で示されるホスファイト型化合物, ホスフィン型化合物(ここで $R_1 R_2 R_3$ はアルキル, アリル, アルキルアリル基, それらの誘導体または水素原子を示し, $Z_1 \sim Z_3$ は酸素原子または/および硫黄原子を示す)およびフォスフィンのアルキルエステル型ないしアリルエステル型化合物より選ばれた少くとも1種の燐化合物の触媒系に $\alpha$ -オレフィンとを接触させること。
3	722238 49. 3.18	48-25413 48. 7.28	44-50879 44. 6.27	結晶性オレフィン共重合体の製造方法 (松岡崇難, 嘉藤敦己, 武藤 実)	四塩化チタニウムをアルミニウム粉で還元した後粉砕した三塩化チタニウムと塩化アルミニウムとの共晶体ないし結晶性化合物を芳香族炭化水素と混合し, 然る後加熱処理し, かつこれと同時に又は各別に上記の芳香族炭化水素を実質的に除去した三塩化チタニウム化合物と, 一般式 $AlR_2X$ (Rは炭化水素残基, Xはハロゲン)で表わされる有機アルミニウム化合物とを組み合わせた触媒系を用いることを特徴とする $\alpha$ -オレフィンを一構成成分としエチレン又は $\alpha$ -オレフィンを共重合, ヘテロブロック共重合する方法。
4	725541 49. 4.17	48-28889 48. 9. 5	43-90547 43-12.12	不飽和ジエステルを製造する方法 (小野 勲, 柳原忠久, 岡田宏亮, 古賀俊国)	少なくとも1種の共役ジエン系炭化水素と少なくとも1種のカルボン酸とを, 少なくとも1種のパラジウム塩と少なくとも1種の酸化剤の存在下, 且つ少なくとも1種のアルカリ金属あるいはアルカリ土類金属の塩を存在せしめて反応させることを特徴とする。一般式 $\begin{array}{c} R_2 \quad R_3 \quad R_4 \quad R_5 \\   \quad   \quad   \quad   \\ R_1 - C - C = C - C - R_6 \\   \quad   \quad   \quad   \\ R_7 - C - O \quad \quad \quad O - C - R_8 \\    \quad \quad \quad \quad \quad    \\ O \quad \quad \quad \quad \quad O \end{array}$

No	登録番号 (登録日)	公告番号 (公告日)	出願番号 (出願日)	名 称	要 旨
					$  \begin{array}{c}  \text{---}(\text{CH}_2)_n\text{---} \\    \\  \text{R}_9\text{---C---C=C---C---R}_{12} \\    \quad   \quad   \\  \text{R}_{10} \text{ R}_{11} \\    \quad   \\  \text{R}_{13}\text{---C---O} \quad \text{O---C---R}_{14} \\     \quad    \\  \text{O} \quad \text{O}  \end{array}  $ <p>で示されるような不飽和ジエステルを製造する方法。</p>
5	727397 49. 4.30	48-30466 48. 9.20	45-18204 45. 3. 3	難燃性スチレン系樹脂組成物 (迫村寿男, 藤井 一)	ポリエチレンポリアミン臭化水素酸塩または/およびエチレンジアミン臭化水素酸塩を含む難燃性スチレン系樹脂組成物。
6	726414 49. 4.30	48-28892 48. 9. 5	44-86190 44.10.28	クロロプレンモノマー中のアクリロニトリルの回収法 (迫村寿男, 清水明彦, 森 忠洋)	クロロプレンモノマー中のアクリロニトリルを塩化亜鉛濃厚溶液によって抽出回収する方法。
7	728749 49. 5.20	48-31982 48.10. 3	44-5846 44. 1.27	グラフト重合体の製造方法 (小坂勇次郎, 植村 勝, 齊藤光高, 鈴木祐二, 高本邦夫)	ポリエチレンの塩素化物, EVA並びにEVAの塩素化物の少なくとも1種に塩化ビニルをグラフト重合させるにあたり, メタクリル酸メチル重合体または/およびその共重合体をあらかじめ塩化ビニルに溶解させておいて, グラフト重合を行うことを特徴とする透明性および耐衝撃性にすぐれた塩化ビニルグラフト重合体の製造方法。
8	729016 49. 5.20	48-34212 48.10.19	45-117507 45.12.25	混合接触除草剤 (竹松哲夫, 角田 博, 馬淵孝幸)	有効成分として, シアン酸ソーダおよび3, 4-ジクロロシクロプロパンカルボキシアニリドを含有することを特徴とする混合接触除草剤。
9	728389 49. 5.14	48-30257 48. 9.18	44-8444 44. 2. 6	アクリル酸のエステル化法 (大槻 進, 宮之原勲)	アクリル酸とメチル或いはエチルアルコールよりアクリル酸メチル或いはエチルエステルを製造するに際し蒸留塔を用い塔上部よりアクリル酸を塔下部よりアルコールを供給し連続的に反応と同時に蒸留を行わせ還流比を1以下に保つことによって生成該エステルと塔に供給された水及び生成水の大部分を塔頂より留出させ塔底より実質的にアクリル酸の存在しない状態で高沸点物質を排出させることを特徴とするアクリル酸エステルの製造方法。
10	731080 49. 5.29	48-35056 48.10.25	44-61436 44. 8. 5	2-ブテン-1・4-ジフェォーメイトの製造法 (木佐木尚, 堤 幸弘, 竹重浩佑, 真淵俊介)	(1)ジハロブテン類にギ酸塩を反応せしめることを特徴とする2-ブテン-1・4-ジフェォーメイトの製造法。 (2)ジハロブテン類に異性化触媒の存在下にギ酸塩を反応せしめることを特徴とする。
11	731966 49. 6.13	48-34829 48.10.24	45-126777 45.12.30	難燃性ポリスチレン系樹脂組成物 (藤井 一, 井上 実, 新原英雄)	ポリスチレン系樹脂に臭素含有量が10重量%から64重量%の臭素化クロロプレンゴムを単独もしくはこれとアンチモン化合物とを混合し, 難燃性ポリスチレン系樹脂組成物中の臭素含有量を3重量%から20重量%とすることにより機械的強度の低下が少なく, 且つ, すぐれた難燃性を付与することを特徴とする難燃性ポリスチレン系樹脂組成物。

№	登録番号 (登録日)	公告番号 (公告日)	出願番号 (出願日)	名 称	要 旨
12	734443 49. 7. 2	48-39923 48.11.28	42-23553 42. 4.13	$\alpha$ -オレフィンの共二量 化法	トリアルキルアルミニウムとハロゲン化ホウ素またはハロゲン化スズとニッケルキレート化合物の三成分系触媒によるエチレン・プロピレン共二量化法。
13	735207 49. 7. 9	48-42475 48.12.12	45-105797 45.12. 2	臭素化ポリクロロプレン の製造法	紫外線照射下、またはフリーデルクラフツ型触媒の存在下でポリクロロプレンと臭素とを反応させることを特徴とする臭素化ポリクロロプレンの製造法。
14	735155 49. 7. 9	48-37245 48.11. 9	44-78176 44.10. 2	ブタジエンより1・4- ジアセトキシ-2-ブテ ンを製造する方法	5~7% (容量) ブタジエン、酸素および不活性ガスを含むガス混合物を酢酸パラジウムと酢酸第2銅よりなるレドックス系と、パラジウムおよび銅以外の重金属の酢酸塩および(または)アルカリ金属またはアルカリ土類金属の酢酸塩を含有する液体酢酸と接触させ、反応を100~140°Cならびに常圧またはそれ以上の圧力下で行うことを特徴とする1・4- ジアセトキシ-2-ブテンの製造法。
15	734038 49. 6.29	48-39399 48.11.24	45-6895 45. 1.26	電気植毛用繊維の加工方 法	電気植毛用繊維の電着処理を行う場合において、該繊維を親水性含水珪酸、親水性含水珪酸塩(但し、珪酸アルカリを除く)もしくは親水性無水珪酸の少なくとも一種を、接着剤として少量の珪酸アルカリを溶解した水溶液に添加調整した懸濁液により処理することを特徴とする。
16	740057 49. 8.22	49-3505 49. 1.26	45-36053 45. 4.27	混合ジクロロブテンより 2-ブテン-1・4-ジ オールの製造法	混合ジクロロブテン(3・4-ジクロロ-1-ブテン、シスおよびトランス-1・4-ジクロロ-2-ブテン)を加水分解して2価アルコールを製造するにあたり、ギ酸塩水溶液に銅、鉄および亜鉛からなる群から選ばれた金属単体もしくは、それらの化合物を添加して行うことにより、実質的にすべてを2-ブテン-1・4-ジオールに変換せしめることを特徴とする方法。
17	740690 49. 9. 5	49-2084 49. 1.18	45-3990 45. 1.14	$\alpha$ -オレフィンの二量 化、共二量化法	一般式 $R_3Al$ および $R_2AlH$ であらわされる有機アルミニウム化合物より選ばれた少なくとも1種と一般式 $Ti(OAr)_4$ であらわされるアリルチタネート類より選ばれた少なくとも1種と、一般式 $(R_1Z_1)(R_2Z_2)(R_3Z_3)P$ 、ホスフィン型化合物( $Z_1 \sim Z_3$ は酸素原子または/および硫黄原子を示す)およびホスフィンのアルキルエステル型ないしアリルエステル型化合物より選ばれた少なくとも1種の燐化合物の触媒系に $\alpha$ -オレフィンを接触させること。
18	742530 49. 9.20	49-439 49. 1. 8	45-63382 45. 7.20	繊維反応型難燃加工方法	天然または/および合成繊維あるいはそれらの繊維製品を水酸基を有するリン酸ハロゲン化エステルまたはその鎖状ポリマーの少なくとも一種を有効成分とする難燃剤で処理することを特徴とする繊維の難燃加工方法。
19	742531 49. 9.20	49-1313 49. 1.12	45-73243 45. 8.21	吸水性大なる発泡体の製 造方法	実質的に水に不溶性の天然または/および合成の粉粒体、繊維状その他成形状の固体の表面に、アルミニウム、マグネシウムの水酸化物、水和酸化物、塩基性炭酸塩の単独または混合物または複塩を固着せしめてなる吸水性大なる充填剤を合成樹脂に混入する

No	登録番号 (登録日)	公告番号 (公告日)	出願番号 (出願日)	名 称	要 旨
					ことを特徴とする吸水性大なる発泡体の製造方法。 (クレーム2)
20	748383 49.11.11	49-9457 49. 3. 5	45-19103 45. 3. 6	1.1.1-トリクロロ-2-( <i>P</i> -クロロフェニル)-2-( <i>P</i> -プロモフェニル)エタンの製造法	1.1.1-トリクロロ-2.2.-ビス( <i>P</i> -プロモフェニル)エタンを室温以下で紫外線照射下において塩素を反応せしめることを特徴とする。
21	749829 49.11.28	49-7137 49.2.19	45-110550 45.12.14	ブテンジオールの酢酸エステルの製造方法 (小野 勲, 柳原忠久, 岡田宏亮, 魚谷武)	臭化銅(II)と酢酸銅(II)の少なくとも一種と、アルカリ土類金属の酢酸塩または臭化物のうち少なくとも1種の存在下(ただし酢酸塩だけの触媒系は除く)で、ブタジエン、酸素および酢酸を反応させることを特徴とするブテンジオール酢酸エステルの製法。
22	752381 49.12.25	49-11689 49. 3.19	45-115881 45.12.23	高臭素置換ビフェニルの製造法 (藤井 一, 大野一郎)	ビフェニルと臭素を溶媒として、クロルスルホン酸を用いて、ヨウ素アルミニウムおよびヨウ素・鉄化合物またはこれらの混合物の存在下において反応せしめることを特徴とする高臭素置換ビフェニルの製造方法。

## &lt;実 用 新 案&gt; 1件

No	登録番号 (登録日)	公告番号 (公告日)	出願番号 (出願日)	名 称	要 旨
1	1054146 49. 9.28	49-1397 49. 1.14	45-133518 45.12.28	水銀法塩化アルカリ電解槽陽極 (鑑江隆二, 友森恒彦)	電解板に取り付けられた導電棒の外側に設置したその上端部近くに鍍を有する耐食性保護管をナットで電解板に固定し、鍍上にシールカバーを袋ナットを介してナットで装置するようにした水銀法塩化アルカリ電解槽陽極。

## &lt;米 国 特 許&gt; 5件

No	登録番号 (登録日)	公告番号 (公告日)	出願番号 (出願日)	名 称	要 旨
1	3830833 74. 8.20		158131 71. 6.29	Process for Isomerising Allylic Esters of Carboxylic Acid (真淵俊介, 木佐木尚)	液相でアリル位カルボン酸エステルを異性化するにあたり、触媒として白金の塩素化合物を用いることを特徴とするアリル位カルボン酸エステルの異性体相互間の異性化方法。
2	3838079 74. 9.24		184920 71. 9.29	Pressure Sensitive Adhesive Composition Comprising Carboxylated Polymer (小坂勇次郎, 植村 勝, 藤木時男, 斎藤光高)	EVAの存在下、無水マレイン酸とアルキルアクリレートとを共重合させて得られる重合体を30~70重量%と、粘着性付与、粘度低下付与の目的で配合せられる変性剤70~30重量%より成る粘着剤組成物。
3	3843733 74.10.22		317050 72.12.20	Method for Producing 2-Bufene-1.4-diol (木佐木尚, 真淵俊介, 提 幸弘)	1.4-ジハロ-2-ブテンを加水分解して、2-ブテン-1.4-ジオールを製造するにあたり、C <sub>2</sub> ~C <sub>4</sub> のカルボン酸のアルカリ金属およびアンモニウム塩を存在せしめつつ、混合液の水素イオン濃度(pH値)が、3~11の範囲を出ざること、アルカリ又

No	登録番号 (登録日)	公告番号 (公告日)	出願番号 (出願日)	名 称	要 旨
					はアルカリ性を呈する塩類を添加することを特徴とする2-ブテン-1,4-ジオールの製造方法。
4	3847507 74.11.12 (崎山和孝, 橋本 勉)		361139 73. 5.17	Liquid Supply System By Pump	当社の H L C-801 に関するもので、ポンプの構造部を構成するシリンダー内の圧力を検出し、差動増巾器を有する自動制御回路により電動モーターを介してピストンの移動を制御すると共に、該モーターに連絡したタコジェネレーターによる帰還信号を前記差動増巾器に帰還すべくしたポンプによる送液方式。
5	3856448 74.12.24 (飯島 昭, 横山裕次郎, 山田洋輔, 木村 真)		319283 72.12.29	Multi core Circular Die for Preparing Multi- layer Tublar Film	日本製鋼所との共願のもので、多層インフレーション用のダイに関するもの。詳細略。

## &lt;イ ラ ン 特 許&gt; 6 件

No	登録番号 (登録日)	公告番号 (公告日)	出願番号 (出願日)	名 称	要 旨
1	12096 (矢守勝二, 高德宗忠, 宮原昭三, 大曲隆昭, 北村匡男)		13238 74. 7.10	Process For Recovering Mercury From A Mer- cury-Containing Sludg	水銀法塩化アルカリ電解による苛性アルカリ製造工程において、塩化アルカリ水精製槽に生ずるスラッジを酸に溶解しアニオン交換体に水銀を吸着させて、酸で処理し水銀を脱着し、その脱着液を用いて中和した精製塩化アルカリ水を電解槽に送る。
2	12103 (戸村吉治, 本村昭治, 矢田公彦, 田中和安)		13127 74. 6.16	Mercury Vapor Collectov	NaCl, FeCl <sub>3</sub> , M <sub>n</sub> Cl <sub>2</sub> , KCl, NH <sub>4</sub> Cl, Fe <sub>2</sub> (SO <sub>4</sub> ) <sub>3</sub> , (NH <sub>4</sub> ) <sub>2</sub> SO <sub>4</sub> より選ばれた水溶性無機塩の少なくとも一種を担持させた活性炭を有効成分とする水銀蒸気捕集剤。
3	12101 (戸倉策磨, 河埜義夫)		13125 74. 6.16	Concrete Solid Covering Salt Mad	水銀式塩化アルカリ電解法の塩水マッドとセメントの混合造粒物又は混合成形物の表面を水硬性無機質粉体でコーティングすることよりなる塩水マッド、廃棄用コンクリートの固型化物。
4	12099 (矢守勝二, 高德宗忠, 宮原昭三, 大曲隆昭)		13071 74. 5.30	Method of Treatment of Drainage Containing Mercury Component	電解工場の水銀を含む廃水を、酸化処理を行う第1工程、酸化処理に使用した過剰の酸化剤の還元処理を行う第2工程、アニオン交換樹脂で処理する第3工程、該樹脂を濃塩酸で溶離する第4工程、溶離液を電解液の pH 調整に使用する第5工程を順々に行うことを特徴とする水銀含有廃水の処理方法。
5	12100 (柿原佑吉, 田中武司, 久富義弘, 国石 修, 山村正春)		13124 74. 6.16	Apparatus for Loading Catalyst	内部が仕切り板によりマス状に区切られている触媒ボックスおよび振動発生機からなり各マスの底面に充填管が接続している固定床多管式反応器用振動型触媒充填装置。
6	12102 (西村義毅, 中村 宏, 吉谷川亮, 岡村直樹)		13126 74. 6.16	Method of Removing Mercury Component	水銀法食塩電解によって得られる水酸化ナトリウム水溶液またはその希釈溶液に、二酸化炭素、炭酸塩または重炭酸塩を溶解させ、この得られた液を吸着性材料と接触させることを特徴とする該水溶液中の水銀を除去する方法。

## 〈英国特許〉 3件

No	登録番号 (登録日)	公告番号 (公告日)	出願番号 (出願日)	名 称	要 旨
1	1331423 74. 1.23	1331423 73. 9.26	37626/69 70.10.16	Process for the Production and Use of an Oxidation Catalyst (井沢正一, 飯国鉄男, 小野勲, 西田清人)	アクロレンまたはメタクロレンからなる系を気相接触酸化してアクリル酸又はメタクリル酸を有利に合成するに当り, 酸化モリブデンと酸化バナジウムを主な触媒組成物として含有し, かつアミン類の1種もしくは1種以上を添加して330~340°Cの温度内において熱処理してえられる酸化触媒を用いることを特徴とするアクリル酸又はメタクリル酸の製造方法。
2	1345625 74. 5.29	1345625 74. 1.30	58073/71 71.12.14	Process for Producing Acetic Esters of Butenediol (小野 勲, 柳原忠久, 岡田宏亮, 魚谷 武)	臭化銅(II)と酢酸銅(II)の少なくとも1種と, アルカリ金属またはアルカリ土類金属の酢酸塩または臭化物のうちの少なくとも1種の存在下(ただし酢酸塩だけの触媒系は除く)で, ブタジエン, 酸素および酢酸を反応させることを特徴とする。
3	1351050 74. 8.21	1351050 74. 4.24	59358/71 71.12.21	Process for Decolorizing Ethyleneamines (大深梯佑, 尾崎元信, 三木重雄, 有吉和美)	エチレンアミン類をその塩酸塩の存在下に蒸留することを特徴とするエチレンアミン類の脱色法。

## 〈西 独 特 許〉 4件

No	登録番号 (登録日)	公告番号 (公告日)	出願番号 (出願日)	名 称	要 旨
1	2134115 74. 2.14	2134115 73. 7. 5	P2134115.1 71. 7. 8	Verfahren zur Katalytischen Isomerisierung von Carbonsäure allylestern (真淵俊介, 木佐木尚)	液相でアリル位カルボン酸エステルを異性化するにあたり, 触媒として白金の塩素化合物を用いることを特徴とするアリル位カルボン酸エステルの異性体相互間の異性化方法。
2	1803434 74.11.21	1803434 74. 4.18	P1803434.9 68.10.16	Verfahren zur Dimerisierung oder Mischdimerisierung von $\alpha$ -Olefinen (井沢正一, 山田静夫, 小埜谷一郎)	一般式 $R_3Al$ または $R_2AlH$ であらわされる有機アルミニウム化合物と一般式 $Ti(OAr)_4$ であらわされるアリルチタネート類からなる触媒に $\alpha$ -オレフィンを接触せしめることを特徴とする。
3	1932033 74.11.28	1932033 74. 8. 8	P1932033.3 69. 6.24	Verfahren zur Herstellung von 2-Buten-1.4-Diol aus Dichlorbutenen (迫村寿男, 木佐木尚, 真淵俊介, 堤 幸弘, 多田 孝)	1.4-ジクロロ-2-ブテン又はブタジエンの気相塩素化により得られるジクロルブテン混合物から2-ブテン-1.4-ジオールを製造するにあたり, ナトリウム, カリウム, カルシウムなどの水に可溶性のギ酸塩を用いて水の存在下に反応せしめることを特徴とする2-ブテン-1.4-ジオールの製造法。
4	2040088 74.11.28	2040088 74. 8. 1	P2040088.8 70. 8.12	Verfahren zur Herstellung von 2-Buten-1.4-Diol (木佐木尚, 真淵俊介, 堤 幸弘)	1.4-ジハロ-2-ブテンを加水分解して2-ブテン-1.4-ジオールを製造するにあたり, $C_2 \sim C_4$ のカルボン酸のアルカリ金属およびアンモニウム塩を存在せしめつつ混合液の水素イオン濃度 (pH値) が3~11の範囲を出ざることくアルカリ又はアルカリ性を呈する塩類を添加することを特徴とする2-ブテン-1.4-ジオールの製造方法。

<仏 特 許> 1件

N°	登録番号 (登録日)	公告番号 (公告日)	出願番号 (出願日)	名 称	要 旨
1	70-19894 74. 5. 6 (小野 勲, 山田静夫, 阿部裕之, 国広延子, 田子和夫)		70-19894 70. 5. 29	Procede de Dimerisation ou de Codimerisation des $\alpha$ -Ole-fines	一般式 $R_3Al$ および $R_2AlH$ であらわされる有機アルミニウム化合物と、一般式 $Ti(OR)_4$ であらわされるアリルチタネート類と、一般式 $(R_1Z_1)(R_2Z_2)(R_3Z_3)P$ , $R_1R_2R_3P$ で示されるホスファイト型化合物、ホスフィン型化合物、およびホスフィンのアルキルエステル型ないしはアリルエステル型化合物より選ばれた少なくとも一種の燐化合物の触媒系に $\alpha$ -オレフィンを接触させることを特徴とする。

<伊 特 許> 1件

N°	登録番号 (登録日)	公告番号 (公告日)	出願番号 (出願日)	名 称	要 旨
1	972919 74. 5. 31 (飯島 昭, 横山裕次郎, 山田洋輔, 木村 真)		33590A/72 72.12.27	Apparechiature per la Preparazione di Pellicole Tubolari a piu' Strati e Stampoo Matrice Circo- lare a piu' Strati	米国の5)と同じ

<ス イ ス 特 許> 1件

N°	登録番号 (登録日)	公告番号 (公告日)	出願番号 (出願日)	名 称	要 旨
1	549120 74. 3. 29 (藤井一, 服部達夫)		19099/71 71.12.28	Verfahren zur Flamm- festansrüstung von Fasern	天然繊維 または/および 合成繊維を次式で表わされる化合物 $\begin{matrix} R_1 \\   \\ (CH) \\   \\ (CH) \\   \\ R_2 \end{matrix} \rangle N \begin{matrix} O \\    \\ P(OR)_{3-n} \end{matrix}, \begin{matrix} R_1 \\   \\ (CH) \\   \\ (CH) \\   \\ R_2 \end{matrix} \rangle N \begin{matrix} P(OR)_{3-n} \end{matrix}$ の少なくとも1種を有効成分とする難燃材で処理することを特徴とする繊維の難燃処理法。

<ベルギー特許> 1件

N°	登録番号 (登録日)	公告番号 (公告日)	出願番号 (出願日)	名 称	要 旨
1	812896 74. 4. 12 (中沢秀昭, 飯国鉄男, 明石光正)		D/142502 74. 3. 27	Procédé de Préparation de Latex de Polychloro- préne	クロロプレンの乳化重合または、クロロペンおよびクロロペンと共重合可能なモノマーとの乳化共重合において、一般式 $R-N-(CH_2)_3-N \begin{matrix} (C_nH_{2n}O)_xH \\   \\ (C_nH_{2n}O)_yH \end{matrix}$ $(C_nH_{2n}O)_zH$ で表わされるものの有機酸塩 または/および 無機酸塩のカチオン性乳化剤および炭素数4から10のn-アルキルメルカプタンの存在下または不存在下で重合させることを特徴とするポリクロロペンラテックスの製法。

## &lt;カナダ特許&gt; 3件

No	登録番号 (登録日)	公告番号 (公告日)	出願番号 (出願日)	名 称	要 旨
1	953259 74. 8.20 (西村充, 藤井秀雄)		149737 72. 8.18	Synthetic Resin Film Bag Having Value for Preventing Free Leakage	詳細 略
2	955348 74. 9.24 (小坂勇次郎, 植村 勝, 藤木時男, 齊藤光高)		141326 72. 5. 4	Method of Preparing Carboxylated Polymer	EVAの存在下, ラジカル開始剤を用いて無水マレイン酸とアルキルアクリレートを共重合させることからなる無水マレイン酸/アルキルアクリレートのグラフト共重合体の合成方法。
3			140972 72. 5. 1	Pressure Sensitive Adhesive Composition	エチレン-酢酸ビニル共重合体の存在下無水マレイン酸とアルキルアクリレートを共重合させて得られる重合体を30~70重量%と粘着性付与, 粘度低下付与の目的で配合せられる変性剤70~30重量%よりなる粘着剤組成物

## &lt;アルゼンチン特許&gt; 1件

No	登録番号 (登録日)	公告番号 (公告日)	出願番号 (出願日)	名 称	要 旨
1	200495 74.11.15 (小坂勇次郎, 黒木 齊, 川崎正州)		249550 73. 8.13	Plancha De Impresion Al Calor	$\beta$ -ピネン重合体, テルペン樹脂, 水添ジシクロペンタジエン樹脂, スチレン-オレフィン共重合体, $\alpha$ -メチルスチレン-ビニルトルエン共重合体, 低分子量-スチレン樹脂, ロジンポリオールエステル, 水添ロジン, 水添ロジンポリオールエステル, ロジンから選択された粘着化樹脂の少なくとも一種を10~60重量%と植物系ワックス, 石油系ワックス, 石炭系ワックス, 合成低分子量ポリオレフィンワックスから選択されたワックスの少なくとも一種を5~50重量%と酢酸ビニル含量7~45重量%のエチレン-酢酸ビニル共重合体でメルトインデックス4~1000g/10分のも10~60重量%と粘着化樹脂, ワックス, エチレン酢酸ビニル共重合体のいずれかに親和性のある無機充填剤5~40重量%の混合物に適量の顔料を配合した熔融混合組成物をマーク状に転写ベースに印刷したことを特徴とする転写時に転写ベースの裏面から熱圧接する熱転写体。